

# | 今月の経済動向 (2019年6月)

## ● 月例経済報告 (6/18)

<p><b>基調判断</b></p>	<p>(6月) 景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(5月) 景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(6月) 持ち直している。</p> <p>(5月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="686 459 1364 869"> <p>(2011年=100) 消費総合指数と実質総雇用者所得</p> <p>消費総合指数 4月 107.7% 3MA 106.5%</p> <p>実質総雇用者所得 4月 100.9% 3MA 99.9%</p> </div>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(6月) このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</p> <p>(5月) このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</p> <div data-bbox="686 869 1364 1279"> <p>(2000年=100) 製造業・非製造業の設備投資 (実質)</p> <p>製造業</p> <p>非製造業</p> </div>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(6月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(5月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="686 1279 1364 1688"> <p>住宅着工戸数 (季節調整値)</p> <p>(年率: 万戸)</p> <p>4月 93.1 万戸 3MA 96.2 万戸</p> </div>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(6月) 着実に改善している。</p> <p>(5月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="686 1688 1364 2089"> <p>雇用者数、就業者数の推移</p> <p>(万人)</p> <p>雇用者数 4月: 5,979万人</p> <p>就業者数 4月: 6,702万人</p> </div>

<p><b>生産</b></p> <p>(6月) このところ弱含んでいる。</p> <p>(5月) このところ弱含んでいる。</p>		<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>																								
<p><b>輸出</b></p> <p>(6月) 弱含んでいる。</p> <p>(5月) 弱含んでいる。</p>		<p>地域別輸出入数量指数</p> <p>①輸出</p> <table border="1" data-bbox="1236 638 1348 862"> <tr><td>EU</td><td>4月</td><td>+2.4%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.2%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>4月</td><td>+5.8%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.8%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>4月</td><td>+2.6%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+2.2%</td></tr> <tr><td>アジア</td><td>4月</td><td>+1.6%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+2.5%</td></tr> </table>	EU	4月	+2.4%		3MA	+1.2%	アメリカ	4月	+5.8%		3MA	+1.8%	全体	4月	+2.6%		3MA	+2.2%	アジア	4月	+1.6%		3MA	+2.5%
EU	4月	+2.4%																								
	3MA	+1.2%																								
アメリカ	4月	+5.8%																								
	3MA	+1.8%																								
全体	4月	+2.6%																								
	3MA	+2.2%																								
アジア	4月	+1.6%																								
	3MA	+2.5%																								
<p><b>国内企業物価</b></p> <p>(6月) このところ横ばいとなっている。</p> <p>(5月) このところ緩やかに上昇している。</p>		<p>企業物価の推移</p>																								
<p><b>消費者物価</b></p> <p>(6月) このところ緩やかに上昇している。</p> <p>(5月) このところ緩やかに上昇している。</p>		<p>消費者物価の推移</p>																								
<p><b>海外経済</b></p> <p>(6月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p> <p>(5月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p>																										

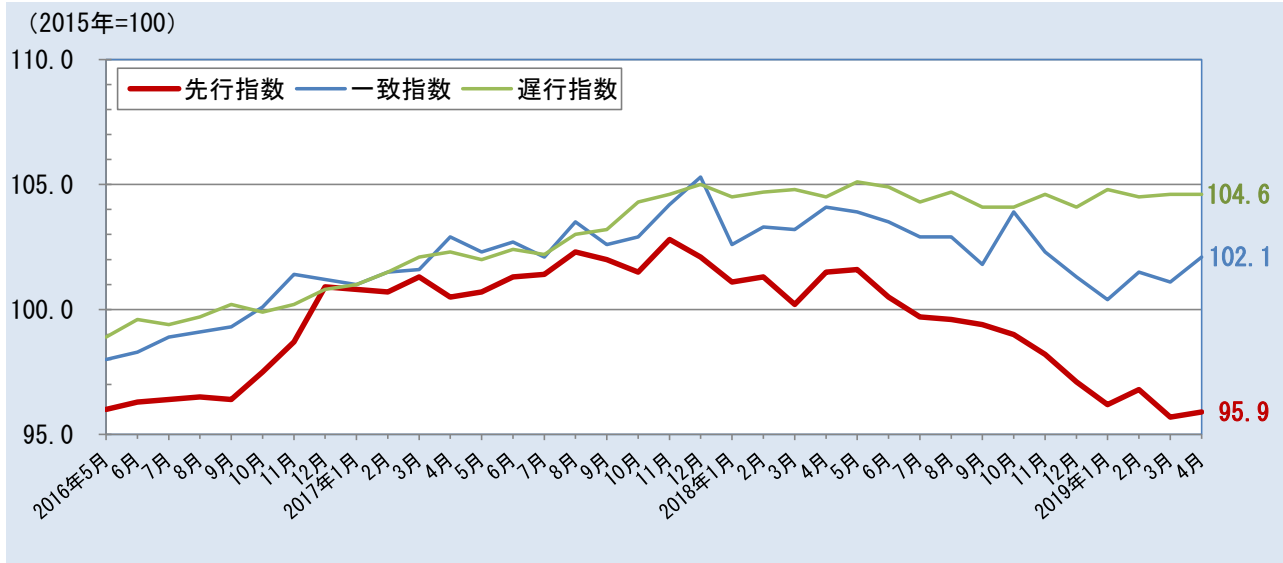
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（2019年4月・改訂値）

2019年4月のCI一致指数（改訂値）は前月より1.0ポイント高い102.1ポイントとなり、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は前月より0.57ポイント高い101.6ポイントとなり、6か月ぶりの上昇となった。7か月後方移動平均は前月より0.04ポイント高い101.8ポイントとなり、6か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数は前月より0.2ポイント高い95.9ポイント、運行指数は前月と変わらず104.6ポイントとなった。

景気の基調判断（CI一致指数）は、「悪化を示している」に据え置いた。



[景気動向指数：内閣府](#)